

先生が質問です



イラスト：© Marie Katsurai

このコーナーでは、全国の学校・教育関係者の皆様が抱えるちょっとした疑問やお悩みを受け付けています。

第1回は、従来の対面授業とは異なる評価の在り方についてご相談いただきました。



駒谷昇一先生
[正会員]

オンライン授業では
どのように成績を評価していますか？

オンライン授業の成績評価をどう行うのか。Google フォームでオンラインテストを実施しましたが、紙ベースのテストよりも正答率が高くなっています。テスト中にWebページや講義用スライドを検索しているからなのですが、それを防ぐ方法もなく、どのようにオンラインテストを実施したらよいのか悩ましいです。どのような工夫があるのか、教えていただければ幸いです。

Q

A

Facebook, Twitter, Web 回答フォームを通じて集まったアイデアをご紹介します！

以前より、ネットがつかえるPC教室でWebテストを実施してきました。授業で教えた個別の知識そのものではなく、その組合せや応用を出題します。たとえば算数なら 2×3 の答えでなく、12と8の公倍数を問題にする。地理ならば「他県に接していない都道府県はいくつあるか？」と問います。知識が身につけていれば簡単に解けるが、ネットでは見つけるのに時間がかかる問題とすればよいわけです。ネットは利用できるという前提で試験する方が時代に合っているでしょう。

Web



金子 格先生
[正会員]



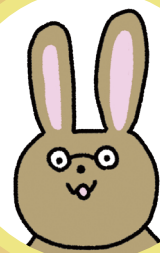
ティープランニング先生
[正会員]

学籍番号で答えが変わるように問題を用意し、不正行為のリスクを減らしています。学籍番号を入力すると自動採点できるようにしています。

Web

画像処理の授業を担当しています。以前は紙ベースの小テストや定期試験を行っていましたが、オンライン授業になったため Moodle での実施に変更しました。問題は 5 × 5 程度の簡単な入力画像に対して手動で画像処理アルゴリズムを適用・計算してもらい、その数値結果を解答してもらいました。Moodle の問題バンクとランダム出題機能を使って、1 問あたり数値を変えた類似問題を 3 問用意して、そのうちの 1 つをランダムに出題しました。紙ベースよりも採点作業が楽になりました。また、不正防止にも一定の効果があったかと思えます。学生アンケートでも「不正がしにくい公正な評価方法がよかった」と複数名の回答がありました。今後、対面授業に戻っても、計算機室でのオンライン試験実施も検討しています。

Twitter



上瀧 剛先生
熊本大学

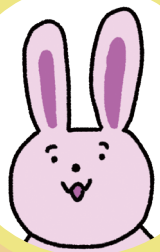
今のところ私の担当授業では「オンラインでのテストは実施しない」に帰着しています。ご質問の意図に反する回答になっているかもしれませんが、自分の事例を紹介させていただきます。少しでもご参考になれば幸いです。

【事例 1】講義+演習科目：オンライン授業になる前と同様に、授業中に行う計算機を使用する演習のレポートを毎回課しました。以前と違い、目の前に学生がいなかったためちょっとしたケアをしづらかった分、レポートのフィードバックで細かくアドバイスしました。

【事例 2】講義科目：講義内容の概要（+ちょっとした問題）をレポートとして毎回提出してもらいました。「スライドや板書をただ写しているだけ」「単語しか頭に入っていない」では困りますので、あらかじめ文章として書くように（たとえば個条書きは減点対象として）伝えました。

評価がまた悩ましいですが、レポートごとに 5 段階評価で採点し、合計点で最終評価としました。なお、オンラインということを考えて、レポートの締切にはある程度の猶予を持たせ、また提出していない学生には個別に催促もしました。いずれにせよ「学生の理解度がより高まること」、つまり「調べること」「学生同士での相談」「教員への質問」などはどの授業でも以前より強く推奨しており、その理念はオンライン授業になっても変わりません。

Web



鈴木大三先生
筑波大学

皆様の参考になれば幸いです！ 次回もお楽しみに！

「先生が質問です!!」への質問・回答受付

- ▶ 質問受付: <https://www.ipsj.or.jp/magazine/senseiga-q.html>
- ▶ 回答募集: 情報処理学会 Facebook ページ (@IPSJ.official)
Twitter アカウント (@ipsj_shinsedai)



質問受付